

環境保全

2014年度目標

- 全ての事業場でゼロエミッション達成
- 再生困難廃棄物の削減と再資源化の推進

当社

2014年度実施結果

- 3工場でゼロエミッションを達成した。
- 前年度より廃棄物の発生量を削減した。

2015年度目標

- 埋立処分量削減による、全ての事業場でゼロエミッション達成

構外グループ企業

- 全ての構外グループ企業でゼロエミッション達成
- 重点取り組み企業を定め、一体となった3R推進

- 全ての構外グループ企業でゼロエミッション達成
- 前年度より廃棄物の発生量は増加したが、埋立処分量は減少した。

- 全ての構外グループ企業でゼロエミッション継続

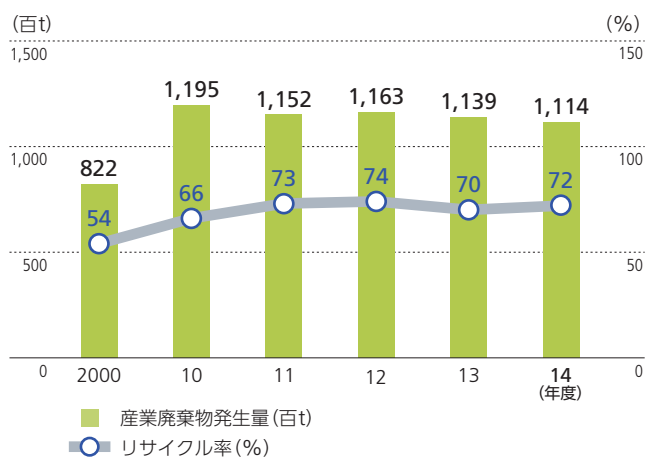
廃棄物削減・リサイクル

当社は、日本経団連の環境自主行動計画（循環型社会形成編）に参加し、2015年度目標（2015年度の産業廃棄物の埋立処分量を2000年度実績比65%程度削減する）を既に前倒しで達成しています。そのため、現状非悪化を原則に削減活動を進めています。

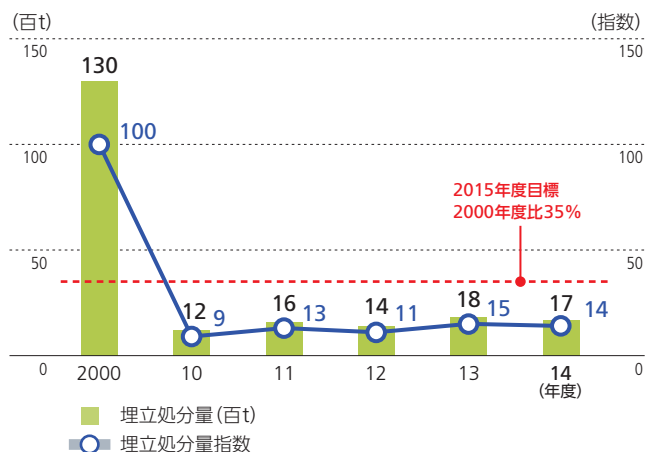
2014年度の産業廃棄物発生量は、前年度より2,500トン削減しました。また、埋立処分量も再資源化推進と再生困難廃棄物の削減に取組み、前年度より100トン減少しました。引き続き埋立処分量を増加させないよう努力していきます。なお、当社ホームページで“廃棄物処理施設の維持管理計画書・維持管理記録書”を公開しています。

WEB <http://www.daicel.com/csr/treatment.html>

当社の産業廃棄物発生量とリサイクル率の推移



当社の埋立処分量と指数の推移



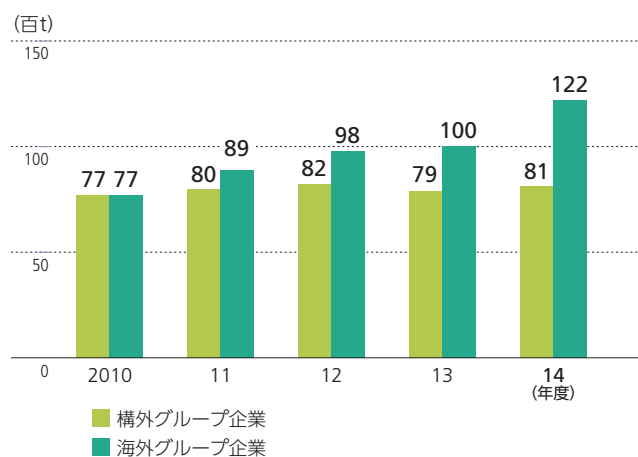
構外グループ企業では、産業廃棄物発生量が前年度より200トン増加しましたが、埋立処分量は約5トン削減しました。海外グループ企業では、事業拡大に起因して、産業廃棄物発生量が前年度より2,200トン増加し、埋立処分量は600トン増加しました。

中期目標に「全ての事業場でゼロエミッション達成（産業廃棄物の発生量に対する埋立処分量が1%未満）」を挙げています。2014年度は当社6工場の内、網干工場、大竹工場、播磨工場の3工場でゼロエミッションを継続して維持しました。

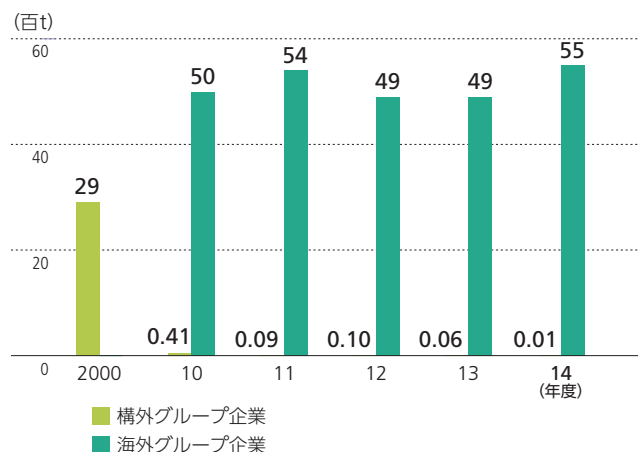
また、ポリプラスチック (株)、ダイセル物流 (株)、DM ノバフォーム (株)、大日ケミカル (株)、ダイセルパックシステムズ (株)、ダイセルパイロテクニクス (株) 全ての構外グループ企業でゼロエミッションを達成しました。

中期目標達成に向けて、今後も引き続き埋立処分量の削減に取り組んでいきます。

構外、海外グループ企業の産業廃棄物発生量の推移



構外、海外グループ企業の埋立処分量の推移



用語解説

1) 3R (スリーアール)：「リデュース (Reduce = 廃棄物の発生抑制)」「リユース (Reuse = 再利用)」「リサイクル (Recycle = 再資源化)」の3つの活動を表す言葉。